

バイエルクロップ

水稻種子處理技術を普及

新たな塗抹手法考案

バイエルグループサイエンス（東京都千代田区）は、水稻種子処理技術に関するサービス拡充に力を入れる。同技術はあらかじめ種もみ（種にする米）に種子処理剤と種子被覆剤をコーティングすることで防除効果を付与し、種まき後の防除作業を省力化できる。農業人口の減少や農地の大規模化といった課題に対するソリューションとして知られる。種子処理技術センタ（千葉県柏市）で新たな塗抹方法の開発に注力するとともに、デジタル技術を用いた処方の提案を推進することで、より分かりやすく、使いやすい種子処理方法を確立し、普及を加速させる。2021年1月にはウエブアプリをアップデートし、害虫の選択項目を増やす方針。

デジタル活用処方も

バイエルは世界に複数の種子処理技術センターを設置している。各地域センターを構えるが、水稻の特性に合わせ大豆や小麦などの種子処理技術センターを構えるが、水稻の種子処理をメインとす
るセンターは日本のみとする。14年を開設し、他

の作物で培われた種子処理技術を水稻に応用するべく、研究開発を重ねてきました。17年に水稻種子処理技術に対応する薬剤を市場投入した後は、より効果的に省力化を実現するサービスおよびソリューション開発に軸足を置いています。同社の種子処理技術「バイエル シードグロース」は、種もみに直接薬剤を塗抹処理することで、田植え後の本田での病害虫を防除できる。箱処理剤と同等の効果および残効性を発揮する。塗

主用なコ真会 削

省力化などの側面から
後の普及が見込まれる。
農業栽培においては、鉄
コーティングなど、主要
はコーティング資材と併
用できる。農閑期に処理

工程概要與設計

A large orange cylindrical sprayer with a red stand, used for applying seed treatment. The sprayer is shown from a side-on perspective, with its orange body and red base clearly visible. The text on the left describes the use of this sprayer for seed treatment.

耕作業はミキサーに種もみと薬剤を入れて、回転させた後、乾燥させるだけ。同社の星加賀久水稻殺虫・殺菌剤「ネジャー」は「簡単かつ確実で経済的」と強調する。農閑期である冬に薬剤処理できるため、繁忙期である春先の作業を減らせる。移植栽培だけでなく、今後の普及が期待される直播（直まき）栽培にも活用できる。ミキサーなし新規の重土九厘機の登場や、重

バイエル シードグロースでは殺虫剤1品、殺菌剤2品の計3製品を用意しており、これらの組み合わせで各現場に応できる。組み合わせや塗抹方法は常に新しい手法が考案されており、同社の営業マンを通して顧客やコーナーに伝えていく。ミキサーなし新規の

防除を省力化する。

シードグロースの処方場案に対応した種子処理機機能を追加した。種子処理機能を追加したことでの育苗期から田植え後の虫・いも病・紋枯病などの病害虫防除まで、田の雑草管理や、初期開通費したソリューション提案が可能になる。

農家はアブリ上で移耕または乾田直播を選択した後、地域など各設問は答えていくと、最適な肥料のレシピが提示される。農家ごとにデータをメイドした処方を提案することで、農家の省力化に貢献する。26年1月には病害虫の選択項目が増えて、より使いやすいシステムにアップデートされ予定だ。